

最高の卒業式でした！

寒さが徐々にやわらぎ、日差しに春の暖かさを感じるようになって、今年度もいよいよ終わりに近づきました。

3月8日の卒業式では、卒業生が一人一人堂々とした態度で校長から卒業



証書を受け取り、心のこもった送辞と答辞、そして、卒業生全員の思いが一つとなった素晴らしい式歌を披露し、立派に卒業していきました。



在校生は残念ながら式に参加することができず、卒業生の雄姿を目の当たりにすることはできませんでしたが、きっと来年は、今年の卒業生に負けないような成長ぶりを見せてくれると信じています。



校長からは次のお話をさせていただきました。

学校長告諭（一部抜粋）

中国の故事に「人間万事塞翁が馬」という言葉があります。人生で起こる幸運や不幸は予測できない。もし、悪いことがあってもそれが良い方向につながることもあるという意味です。

人生で経験したことは決して無駄になることはありません。この1年、コロナ禍での経験は、皆さんの人生において、大いなる学びとなり、豊かな人生を切り拓いていく力になることと信じています。

そして、夢地図の授業で皆さんが発表したように、自分の可能性を信じて、夢に向かって一歩ずつ進んでください。私がよく言う、富士山を散歩のついでに登った人はいない。富士山に登ろうと決意した人だけが登ることができた。ということをお忘れず、ぜひ、あなたの頂上を見つけ、一生懸命に生きてください。

卒業生の皆さん、新しい世界へのスタートです。胸を張って、笑顔で飛び立ってください。皆さんの前途に幸多かれと祈り、私の告諭といたします。

SSピンポンを楽しもう！

3月1日（月）

視覚障がいのある伊藤雅彦さんと黒田智子（のりこ）さんに来校していただき、1年生がSSピンポンに挑戦するとともに、講話を聴かせていただきました。伊藤さん、黒田さんともに、全国障害者スポーツ大会の卓球（サウンドテーブルテニス）に三重県代表として出場し、金メダルを獲得されています。



生徒たちはお二人の指導でSSピンポン（下記参照）を体験した後、色々な工夫をして生活されていることを教えていただきました。

現代はスマートフォンやパソコンが音声を出すので、メールを送ったり文章を書くことが助かっていたり、色を識別したり照明の明るさを判別する機械があることを教えていただきました。また、ビデオで伊藤さんが上手にキュウリを輪切りにしたりする様子を観て感心しました。

ただ、外出したとき、バスに乗っても空いている席がわからないことや、自動販売機のボタンが何の商品を指しているのか、点字ブロックに自転車などの物が置いてあると、それをよけたときに方向を見失ってしまうことなど、困ることもあります。もし、困っている場面をみつけたら、「何かお手伝いすることはありますか？」と声をかけてもらえるとありがたいし、そうすると自分たちにできることがもっと増えるとお話されました。

SSピンポン

SSピンポンは、三重県発祥の競技で、卓球台の上で音の出るボールを転がして打ち合う競技です。SSとは、生涯（Syougai）とスポーツ(Sports)を頭文字にしている、子どもから高齢者まで、障がいの有無に関係なく誰でも楽しめる新しいスポーツです。

今年の三重とこわか国体ではデモンストレーション競技として行われる予定です。

令和3年度 学校行事について

3年生修学旅行の実施日などが決まりましたのでお知らせします。他の学校行事については次号の「学校だより」でお知らせします。

1学期始業式・入学式 4月6日（火）

授業参観（3年修学旅行・進路説明会）・PTA総会 4月23日（金）

自然教室（1年）5月21日（金）・22日（土）

修学旅行（3年）6月23日（水）～25日（金）

1学期終業式 7月20日（火）